

新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、下記検査項目につきまして、検査の受託を開始させていただく事となりましたので、ご案内申し上げます。

敬 白

2023年5月

【記】

◇新規受託開始検査項目

項目コード:2726

sFlt-1/PlGF比(エスフルトワン/ピーエルジーエフヒ)

受託開始日: 2023年5月8日(月) 受付分より

妊娠高血圧腎症(preeclampsia: PE)は、妊娠高血圧症候群の代表的な病型の一つであり、高血圧に加えて、蛋白尿、基礎疾患のない肝機能障害、腎障害、脳卒中、神経障害、血液凝固障害、子宮胎盤機能不全を示す疾患です。

近年、PEの病態形成には、血管新生因子である胎盤増殖因子(placental growth factor: PlGF)及びその阻害因子の可溶性 fms 様チロシンキナーゼ 1(soluble fms-like tyrosine kinase-1: sFlt-1)が関与していることが明らかになっています。

PEを発症する妊婦は、発症前に血清中の sFlt-1 の PlGF に対する比率が上昇することから、sFlt-1/PlGF 比は PE の発症を予測する指標として注目されています。

sFlt-1/PlGF 比は、PE 発症リスクが高いと考えられる妊婦(ハイリスク妊婦)を対象とした臨床試験において、PE の 1 週間以内の非発症予測および 4 週間以内の発症予測に有用であることが示され、ハイリスク妊婦における PE の短期発症予測の補助マーカーとして 2021 年 7 月に保険適用されました。

※ 検査要項の詳細は裏面をご参照下さい

◇検査要項

検査項目名	sFlt-1/PIGF比(エスフルトワン/ピーエルジーエフヒ)
項目コード	2726
報告内容	sFlt-1、PIGF、sFlt-1/PIGF比
検体必要量/保存	血清 0.7mL / 冷蔵
検体容器	⑩:分離剤入り容器
検査方法	sFlt-1、PIGF : ECLIA法 sFlt-1/PIGF比 : 計算法
基準範囲	sFlt-1、PIGF : なし sFlt-1/PIGF比 : 38.0以下 ^{※1}
単位	sFlt-1、PIGF : pg/mL sFlt-1/PIGF比 : なし
報告範囲	sFlt-1 : 10.0未満～85000以上 PIGF : 3.0未満～10000以上 sFlt-1/PIGF比 : 0.0～最終値
所要日数	3～7日
検査実施料	340点 ^{※2}
判断料	144点(免疫学)
備考	ビオチンを1日5mg以上投与している患者からの採血は、投与後、少なくとも8時間以上経過してから実施してください。

※1 sFlt-1/PIGF比 妊娠高血圧腎症(PE)発症予測のカットオフ値(試薬添付文書より)

sFlt-1/PIGF比 ≤ 38	: 1週間以内のPEの非発症予測
sFlt-1/PIGF比 > 38	: 4週間以内のPEの発症予測

※2 検査実施料に関わる留意事項

(ア) 本検査は、妊娠18週から36週未満の妊娠高血圧腎症が疑われる妊婦であって、以下のリスク因子のうちいずれか1つを有するものに対して実施した場合に、原則として一連の妊娠につき1回に限り算定できる。なお、リスク因子を2つ以上有する場合は、原則として当該点数は算定できない。

【イ】 収縮期血圧が130mmHg以上又は拡張期血圧80mmHg以上

【ロ】 蛋白尿

【ハ】 妊娠高血圧腎症を疑う臨床症状又は検査所見

【ニ】 子宮内胎児発育遅延

【ホ】 子宮内胎児発育遅延を疑う検査所見

(イ) 本検査を算定する場合は、(ア)のリスク因子のいずれに該当するかを診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。また、(ア)の【ハ】又は【ホ】に該当する場合は、その医学的根拠を併せて記載すること。なお、医学的な必要性から、リスク因子を2つ以上有する妊婦において算定する場合、又は一連の妊娠につき2回以上算定する場合は、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。